

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2375601651		
法人名	社会福祉法人 カリヨン福祉会		
事業所名	グループホームカリヨンの郷「新千秋」		
所在地	愛知県 海部郡蟹江町大字新千秋字後西33番		
自己評価作成日	平成21年 8月15日	評価結果市町村受理日	平成21年10月23日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-aichi.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2375601651&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-aichi.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2375601651&amp;SCD=320</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター		
所在地	愛知県名古屋市中昭和区鶴舞3-8-10 愛知労働文化センター3F		
訪問調査日	平成21年 9月 9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「明るく楽しい生きがいのある生活」と「利用者にとって何が幸せか」を当事業所の理念として、それを具体化するために、全職員が人間愛と人間尊重の基本精神で、利用者に対する温かい心と誠意をもって接し、利用者の処遇向上を図るとともに、高齢化とともに体力的に虚弱化が進みつつある中で、利用者の自主性を尊重した事業所運営と、より一層の誠実な個別処遇を行なうように努力している。さらに、個人情報保護に関しては関係法令を遵守し誠意ある対応を常に心がけている。また、地域社会に根ざした事業所運営をより一層進めていくために、地域高齢者に対しても在宅福祉を積極的に推進し、地域社会における行事に参加するよう、地域福祉に努力している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

若い管理者は着任して日が浅いが、すでに職員の気持ちをつかんでおり、ホームが一体となって同じ方向に進んでいる感が強い。法人の6項目の理念と整合させたホーム独自の理念を構築すれば、管理者が目指すケアの充実はさらに深まろう。  
母体の特養施設と比較すると地域からの認知度が低いことは否めないが、地域包括支援センター主催のイベントにホームの空きスペースを提供する等、地域への貢献度も増している。行政区域内のグループホームとしては、当該事業所を含めても2事業所3ユニットが運営されているにすぎず、早期の1ユニット増設が待たれる。  
玄関等の施設問題を契機に、管理者・職員は苦労とともに貴重な経験を積み上げている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+-) + (Enter+-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	GH独自の理念はまだ掲げていないが、法人としての理念があり、その項目を元に日常の業務を行っている。	管理者・職員は、法人理念6項目をホームの理念として、常に認識し実践に努めているが、ホーム独自の意義や役割を意識づける理念は検討の段階である。	法人理念を踏まえ、グループホームの意義と特徴を活かしたホーム独自の理念を文書化し、全職員がケアに反映できる取り組みに期待したい。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加したり、地域の保育園児・フラダンス・フラワーアレンジメントなどの慰問。	利用者は、交替でスーパーへ食材の買出しや、散歩で近くの児童館や幼稚園へ出かける等、日常的に地域の人達とふれあう機会づくりに努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の体験学習受入やボランティアを受け入れ、対応している。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度行い、議事録も職員に回覧している。	利用者や家族代表、地域包括や地域代表等が2ヶ月に1回集まり、ホームの活動状況を報告、参加者から意見・要望・助言等を受け、ホームのサービスの向上に活かしている。	外部評価結果をもとに作成した目標達成計画についても、推進会議にて報告や経過を伝え、参加者から意見をもらいながら、一層のサービスの向上に繋げてほしい。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村から適宜メールが送信されているが、こちらからは問題が無い限り連絡はしていない。	主に町との連絡は母体法人経由にて行っている。ホーム施設の一部を地域包括センターの活動に貸す等の交流で、地域を通して行政にホームの活動状況を伝えている。	ホームの活動状況を町担当者に報告する機会を増やししながら町担当者との連携を深め、地域認知症ケア向上の一翼を担う協力関係の構築を期待したい。
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	帰宅願望が著しい利用者様がいるため、玄関・階段に施錠を行っている。	運営推進会議でも、毎回施錠についての討議が繰り返されている。管理者、職員ともに現状を善しとしているわけではなく、身体拘束に関する高い意識もっている。	開錠が全て「是」ではない。状況を判断してより良い方策を練ったり、常に問題意識を持つことこそ意義がある。管理者のご苦労に対して敬意を表す。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修やミーティングでの話し合いと、入浴時の全身チェックを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修参加やミーティングで勉強会を適宜開催している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者と計画作成担当者が面接を行ない、納得がいくまで説明を行っている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	プラン説明時にご家族の意見・要望を聞いたり、要望書を作成するなどしている。	運営推進会議の場や、家族の面会時等、日常会話を通して常に利用者や家族等からの意見・要望等を把握・記録し、サービスの質の向上に活かす取り組みをしている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度のミーティングを実施。	赴任して日が浅い管理者は、ホームの運営について職員の意見を尊重してこの謙虚な姿勢で臨んでいる。終末期ケアの方針やホームイベントにも、職員の意見が反映されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回自己評価と面接を行っているが、代表者は職員の移動について職員個々の意思をくみ取ろうとしていない。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に業務時間内で研修に参加している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の事業所見学を予定している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	日々の生活を一緒に過ごしなが、不安・要望・得意分野・苦手分野を理解していけるよう努力している。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	些細な質問にも誠意を持って対応している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	すぐに出来る事はすぐに対応し、できないことについては他の専門機関などと連携しながら問題解決に努めている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	主に家事参加を通して、得意・不得意を把握しながら、主体的な参加を促し上下関係のない関係を築き上げている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族に適宜情報を提供し、家族でしか解決できない悩みなどを一緒に解決している。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	それぞれの利用者様の馴染みのスーパー、喫茶店に行くなどしている。	馴染の美容室や法事への参加送迎等を行っている。本人や家族との会話からも情報を収集して利用者の生活歴の把握に努め、地域社会との継続的な交流の支援を行っている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係把握に努めながら、それぞれの性格、文化をお互いが認めあえるよう役割分担をするなどして、支えあい出来るよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	同じ法人内の事業所へ入所などされた場合は、事あるごとに面会などしている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ミーティングでの意見交換、担当者会議などの話し合いで希望・意向を把握し、また普段のコミュニケーションから希望・意向をくみ取るよう努めている。	職員は利用者との日常会話や行動・表情から、思いや意向の把握に努めている。ミーティングや担当者会議等で意見交換を行い、その人らしい暮らし方の継続支援に向けて努力している。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを職員全員が把握して、ケアプランに活かしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リズムを把握して無理に団体生活を強いることはしていない。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者だけが計画・モニタリングをするのではなく、職員全員の意見を取り込んで計画作成している。	利用者とは日常接する中で、家族には面会時や電話・手紙で、意向や意見の把握に努めている。毎月モニタリングを行い、パートも含めた職員全員での担当者会議で意見交換し、介護計画に反映させている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録・プラン・モニタリングなど独自の工夫を行ない、情報を出来る限り共有している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の法事などあれば、自宅へ送迎するなどしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	通いなれた喫茶店、商店などを把握して、買い物や散歩にお連れするなどしている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	昔からかかっている病院へ行けるよう配慮している。	利用者・家族の希望するかかりつけ医への受診支援を行っている。基本的に通院付き添いは家族にお願いしているが、都合によっては職員が代行している。受診結果・投薬情報等を口頭にて家族と確認している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設されたデイサービス看護師に適宜相談・協力を得ている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	関係作りとはいかないが、情報交換は行っている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	同法人の特別養護老人ホームへの入所説明や他の事業所、病院の情報提供、支援を行なっている。	入所時に利用者・家族等の思いを確認し、ホーム側で対応できる内容を説明している。利用者の状況変化に対処すべく、同法人特養で職員のスキルアップ研修を受ける等、対応可能な支援に取り組んでいる。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命救急講習を定期的受講している。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常用食料・備品が確保されているが、職員への訓練は徹底されていない。	運営推進会議にて、避難場所等地域と話し合っている。避難訓練も行われているが、実践的な避難誘導訓練は十分とは言えない状況である。	災害に昼夜はなく、全ての時間帯を想定した実践的な避難誘導訓練の実施と、職員だけの誘導限界を踏まえて、推進会議を活用する等、地域との連携強化を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	信頼関係が出来ていないときの安易は言葉かけは注意している。	職員の利用者への接し方や言葉かけは、ゆっくりと穏やかで、利用者の誇りや羞恥心に配慮したものとなり、自己決定し易い尋ね方に努めている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	あまり主張されない利用者様に対して、消去法や簡単な選択方法をとることで、できる限り意思を表出できるよう努めている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせた生活ができるよう、生活リズムや体調に配慮している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	昔から行っている美容院へ行く、毛染めを事業所でやるなど、いつまでもおしゃれでいられるよう努めている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理から片付けまで一緒に行っている。本人の得意料理や好きな物をメニューに反映している。	買い物から調理・配膳、下膳から片付けと、利用者はできることに参加している。利用者と職員は同じ料理を食べながら、味付けや刻み具合を和やかに話していた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	検食簿に一日10品目を摂取できるよう表示し、ケース記録にも水分量を記入把握している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、全員行っている。義歯の方は就寝前ポリドントにつけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを把握して、トイレ誘導の時間を工夫している。失禁のある方も、夜間時のみハビリパンツを使用して、日勤帯はできる限り普通のパンツをはいてもらえるよう努めている。	利用者の羞恥心に配慮した声かけ・誘導に努め、個々の排泄パターンに応じた支援を行っている。日中はできるだけ布パンツ使用に努めている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分、運動など調整して自然排泄を心がけているが、弱い整腸剤も利用している利用者様もいる。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	AM, PMの入浴時間を選べる。	ほとんどの利用者が毎日入浴している。利用者の希望や体調を考慮して、順番は決めずに午前と午後のどちらでも入浴できる。利用者の満足度は高い。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	傾眠されている時は、ベットへ誘導するなどしている。夜熟睡できるよう、日中の生活と夜間に向けての準備に配慮している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬情報を共有しながら、変化があった場合は、申し送りを徹底して。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	他の利用者様と比較はせず、本人の張り合いを優先している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	最低月に一度は個別外出を行なうなどして対応している。	散歩や買い物をしたり、児童館で子どもたちとふれあったり、喫茶や外食に出かける等の日常的な外出支援を行っている。また、法事参加の送迎を行う等、利用者の希望や楽しみとなる外出支援に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族が希望する以外はこちらで管理している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば行っている。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	吹き抜けや天窓からの天気を確認してもらったり、壁画から季節を認知してもらったりしている。	天井が高く、テーブルやソファ・掲示物等、落ち着いた配置で、照明も柔らかく、ゆったり寛げる空間となっている。また、ベランダからは田んぼやグラウンド等広く眺めることができ、開放感がある。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置方法を工夫するなどして配慮している。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	殺風景な居室も少ない。	利用者によって持ち物の量に差があるが、置かれ飾られているものは、利用者が自ら選び納得して置いている物である。大切な品や写真・飾り物等、どんな物か一つ一つ利用者から説明を受けた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室が分かるようなれんで区別するなどしている。		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人としての理念があるが、グループホーム独自の理念がなく、管理者と職員は理念を共有して実践につなげていない。	グループホームの意義と特徴を活かした独自の理念を全員で作成し、全職員がケアに反映できるようにする。	グループホームの意義と特徴を活かした独自の理念を全員で作成し、文書化する。また文書化した理念は適宜、職員の目に入る場所へ掲示する。	2ヶ月
2	35	非常用食料・備品は確保されているが、職員への訓練は徹底されていない。 非難訓練は実施されているが、十分とはいえない状況にある。	災害に昼夜はなく、すべての時間帯を想定した実践的な非難誘導訓練の実施と、職員だけの誘導限界を踏まえて、推進会議などを活用して地域との連携強化を目指す。	夜間時を想定した防災訓練や、具体的な防災マニュアルを作成する。 ミーティング時を利用した定期的(2ヶ月に1回)なミニ防災訓練を行う。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。